

2024年11月8日

各位

東北大学 大学院工学研究科  
教授 遊佐 訓孝  
東北大学 流体科学研究所  
教授 内一 哲哉

## 東北大学 第11回公開講座 『今、エネルギーを考える』開催について（ご案内）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、東北大学工学研究科は、同流体科学研究所、日本保全学会東北・北海道支部との共催により、第11回公開講座『今、エネルギーを考える』を開催いたします。この講座は、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考えていただくための素地を提供することを目的として開催しているものです。

エネルギーをめぐる政治経済や環境問題の状況は、めまぐるしく移り変わっております。さまざまな時間と空間のスケールの変化のなかから本質を見極め、我々が進むべき道を考える必要があります。このような情勢に鑑み、第11回となる本講座では、環境と調和したエネルギーミックスと原子力開発の方向性についてNPO法人ニュークリア・サロンの小竹庄司氏にご講演をいただきます。また、原子力発電所への地震の影響と評価について最近の事例も踏まえ東北大学災害科学国際研究所の遠田晋次氏にご講演をいただきます。環境とエネルギー、原子力開発と安全確保について考えを深めるきっかけにして頂ければ幸いです。

ご多忙のところ恐縮ですが、是非ともご参加を賜りたくご案内申し上げます。

### 記

- 主 催：東北大学大学院工学研究科  
共 催：東北大学流体科学研究所、日本保全学会東北・北海道支部
- 日 時：2024年12月21日（土） 13:00～16:15（開場 12:30）
- 会 場：東北大学片平キャンパス 片平さくらホール  
宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1（添付地図参照）
- 内 容：  
○講演1 「カーボンニュートラル実現を目指した電源構成と原子力開発の目指す方向」  
講師／NPO法人 ニュークリア・サロン 副代表 小竹 庄司 氏  
○講演2 「能登半島地震と日本列島の地震ハザード評価」  
講師／東北大学災害科学国際研究所 教授 遠田 晋次 氏
- 定 員：片平さくらホール 196名
- 参加費： 無料
- 申 込：2024年12月6日（金）PM12時まで

※申込用紙に必要事項をご記入のうえ、メール添付で下記までお申込み下さい。  
後日、担当より受付確認のメールを返信いたします。

### 《お問い合わせ先》

日本保全学会 東北・北海道支部 事務局 担当：堀籠 一恵  
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1  
TEL&FAX: 022-211-9889 E-mail: north.com@jsm.or.jp

◆講演『カーボンニュートラル実現を目指した電源構成と原子力開発の目指す方向』

NPO 法人 ニュークリア・サロン 副代表 小竹 庄司 氏

【講演概要】

2050年のカーボンニュートラルを実現し、電力の安定供給を確保できるエネルギーミックス(電源構成)について、幾つかの条件を想定した電力需給計算と内外の技術開発の動向を踏まえて検討した結果と、原子力開発の目指す方向について紹介する。



講師紹介

小竹 庄司 (こたけ しょうじ)

1981年大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻修了、三菱総合研究所、(財)原子力安全解析所、独・カールスルーエ原子力研究センター、(財)電力中央研究所、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構にて、軽水炉の安全解析、核融合システムの安全評価手法の開発、高速炉の安全設計及びシビアアクシデント研究、高速炉開発プロジェクトに参画。現在、日本原子力研究開発機構 高速炉サイクルプロジェクト推進室・アドバイザー兼日本原子力発電(株)高速炉開発担当、2017年より特定NPO法人ニュークリアサロン副代表理事、2018年より原子力国民会議会員。

◆講演『能登半島地震と日本列島の地震ハザード評価』

東北大学災害科学国際研究所 教授 遠田 晋次 氏

【講演概要】

今年元日に発生したマグニチュード7.6の能登半島地震では、奥能登を中心に家屋の倒壊、津波、斜面崩壊、液状化などが発生し、顕著な被害となった。講演では、この地震の地質学的背景、地殻変動、地震活動の概要を紹介するとともに、内陸地震を中心に地震ハザード評価の現状と課題を解説する。



講師紹介

遠田 晋次 (とくだ しんじ)

1966年宮崎県生まれ。鹿児島大学理学部卒業。東北大学大学院理学研究科前期博士課程修了。

(財)電力中央研究所、東京大学地震研究所、産業技術総合研究所活断層研究センター、京都大学防災研究所を経て2012年10月より現職。専門は地震地質学。